

こども育むくらし楽しむ

みらいに躍動する 魁のまち・みと

これからのまちづくりの基本方針の概要と、その実現に向けた令和6年度の主な事業、予算について紹介します。
問合せ／基本方針については政策企画課(☎2322・9104)、「こども・子育て支援の事業」についてはこども政策課(☎2322・9176)



高橋靖 水戸市長

市政運営に関する

基本方針

新年度からスタートする水戸市第7次総合計画「みと魁・Nextプラン」では、未来を創るこどもたちの育成を最重要政策として取り組んでいくこととしました。まちをつくる原動力は「人」であり、将来、水戸で暮らし、活動するこどもたちに、まちの発展の中心になってほしいという、私の強い願いからです。将来にわたって発展し、暮らしたいと思える都市、全ての市民が明るい未来を展望できるまちを目指し、全力を尽くしていきます。

まち全体でこどもたちを育み、未来をリードする人材を育てる

私は、「まちの未来」そのものであるこどもたちを、まち全体で見守り、育んでいくという機運を高めていくことは、全ての市民が安心できる暮らしにつながっていくものと考えています。

そのため、「子育て世帯の経済的負担の軽減」「相談・支援の充実」「こどもが活動しやすい環境づくり」の三つを柱とした「みとっこ未来プロジェクト」を重点プ

ロジェクトに位置付けました。これまでの、市立中学校の給食費無償化や小中学校への入学にあわせた応援金支給など、こども・子育て支援の取組をより一層充実するとともに、新たな施策にも積極的に取り組んでいきます。

特に、市立小学校の給食費については、これまで高騰する食料費に対応した公費負担を進めてきましたが、これをさらに前進させ、無償化に向け、令和6年度には、保護者の負担を半額とする小学校給食費サポート事業を実施します。

また、子育て家庭にとって最も身近な相談窓口として、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもたちへ一体的に相談・支援を行う「こども家庭センター」を本庁舎内に設置し、地域の関係機関とも連携しながら、しっかりと支援できる体制の強化を図ります。あわせて、こどもたちの新たなつながりの場やこどもの挑戦を応援する仕組みを作るなど、一人一人が個性や能力を発揮し、のびのびと活動しやすい環境づくりを進めていきます。

これらの取組を着実に推し進めることにより、様々な可能性を持ったこどもたちが、夢を実現する力と自信を身につけ、未来に向かって力強く羽ばたくことができるよう応援していきます。

若い世代の力、民間の力をまちづくりに生かす

価値観やライフスタイルが多様化し、若者が求める楽しみや暮らし方、働き方も様々となっている中、若い世代に本市を活躍の場として選んでもらうため、若者が働きたいと感じる魅力ある多様な働く場を創り出していくとともに、誰もが自らの選択を尊重され、自分らしく活躍することのできる環境づくりを推進していきます。

魅力ある多様な働く場の創出に向けては、中小企業の持続的な成長を支援していくとともに、新たな企業誘致の用地確保にも取り組んでいきます。また、創業・スタートアップ支援をはじめ、リスキリングやリカレント教育への支援などを通して、若い世代の挑戦、活躍を力強く応援していきます。

さらに、未来をリードする若い世代に、まちの現状や将来について自分事として関心を持ってもらうことも重要です。これまでも、行政懇談会などの場で大学生や高校生からの意欲的な政策提言、意見発表をいただけてきました。今後、まちづくりに積極的に参加していただく機運を高めながら、若い世

代の力をまちづくりに生かしていきます。本市においては、これまでも、市民団体との協働事業や、企業・大学等との連携事業、パークPFIを活用した公園づくりなど、様々な分野において、多様な主体と連携したまちづくりを進めてきました。私は、民と官とが共に課題の解決を図るために、もう一歩進んだ連携を図っていきたくと考えています。民間の力を行政運営に生かしていくという考え方に留まらず、企業や市民団体などによる主体的な取組を行政が応援をするという、主役を変えていく発想の転換です。自治体こそが取り組むべき社会課題には、しっかりと自治体が対応するとともに、民間が主導することにより効率化が図られる課題については、積極的に民間共創で課題解決に取り組んでいきます。

これからも、市民の皆さんと共に考え、共に取り組み、誰もが生き生きと活躍することができるとまちづくりを推し進めながら、将来都市像「こども育むくらし楽しむ みらいに躍動する 魁のまち・みと」の実現に全力を尽くしていきます。



市政運営に関する基本方針は、
市ホームページに掲載しています。

令和6年度の こども・子育て支援に係る主な施策・事業

こどもが活動しやすい環境づくり

水戸ならではの体験活動の充実

4億534万1千円

少年自然の家等の運営、水戸芸術館と連携した芸術教育、青少年活動団体の支援などを行います。

公園などのこどもの遊び場の充実

1億510万8千円

児童遊園などの遊具改修を実施します。

こどもの学習・生活支援の充実

1,920万円

生活困窮世帯などのこどもを対象とした学習支援会を実施します。

新たなつながりの場づくりの推進

新規

870万2千円 (※)

市内のこども食堂が、JA水戸から野菜等の提供を受ける取組などの支援を行います。

(※)令和6年度当初予算…20万円
令和5年度補正予算…850万2千円

相談・支援の充実

伴走型相談支援事業

467万1千円

妊婦や子育て世帯への寄り添い支援を行います。

「こども家庭センター」の設置

新規

972万2千円

母子保健、児童福祉に関する包括的な相談や支援を行います。

「すまいるママみと」を中心とした妊産婦支援

1,224万2千円

乳児家庭全戸訪問事業や産後ケア事業などによる妊産婦支援を行います。

こども・子育て関連手続きなどのDXの推進

277万2千円

LINEによる保育所申込手続きを実施します。また、みとっこ子育て応援アプリの充実を図ります。

放課後学級運営の充実

拡充

6億1,450万2千円

放課後学級利用希望児童の増加に対応するため、6学級増設します(33校82学級)。

経済的負担の軽減

医療福祉費助成

(妊産婦・こども・ひとり親マル福)

11億5,800万円

妊産婦とこどもの医療費の支援を行います。

中学校給食費の無償化

4億2,273万円

市立中学校の給食費の無償化とともに、食材料費の公費負担を行います。

小学校給食費サポート事業

新規

4億9,827万8千円

市立小学校の給食費を半額(月額4,300円⇒2,150円)に軽減するとともに、食材料費の公費負担を行います。

結婚新生活の支援

拡充

(結婚新生活支援補助金)

5,700万円

結婚に伴う住宅取得費用などの補助を拡充します。

特定市営大山台住宅リノベーション事業

新規

1億3,150万円

特定市営大山台住宅(見川町)について、子育て世帯向けのリノベーションを実施します。

令和6年度当初予算は、「第7次総合計画の着実な推進」と「水戸の未来を支える持続可能な財政基盤の確立」の2つの基本方針のもと、予算編成を行いました。

特に、将来にわたる水戸の成長と発展の原動力となる、人づくりの視点から重点的な財源配分を行った、こども・子育て支援と教育分野に力を入れていきます。

また、行政のデジタル化やゼロカーボン・エコシティの実現に向けた取組を推進するとともに、まちなかのさらなる活性化を図りながら、企業立地の促進や中小企業の成長支援など、地域経済の発展に資する施策を積極的に展開していきます。

市の会計

地方公共団体の会計には、一般会計、特別会計、公営企業会計があります。

▼一般会計

教育や福祉などの市民サービスのほか、公共施設の維持管理、道路など生活基盤の整備等、市の基本的な行政運営の経費を経理します。

▼特別会計、公営企業会計

特定の事業を行うために目的別に会計を設け、個別に経理して、受益と負担の関係を明らかにしています。

予算総額

2,048億2,230万円
(前年度比1.0%増)

一般会計 **1,198億2,500万円**
(前年度比2.0%増)

特別会計 **541億5,090万円**
(前年度比0.3%減)

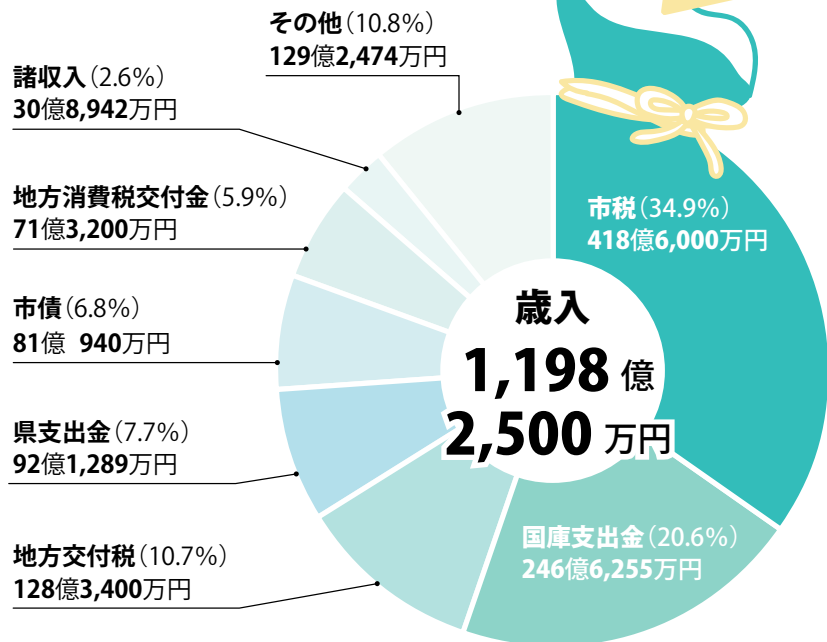
公営企業会計 **308億4,640万円**
(前年度比0.7%減)

各会計の予算と前年度との比較

(単位：千円、%)

会計	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率
一般会計	119,825,000	117,470,000	2,355,000	2.0
特別会計	54,150,900	54,308,400	△157,500	△0.3
国民健康保険会計	22,484,000	22,978,000	△494,000	△2.1
公設地方卸売市場事業会計	976,000	1,173,000	△197,000	△16.8
駐車場事業会計	171,000	201,000	△30,000	△14.9
東前第二土地区画整理事業会計	188,000	204,000	△16,000	△7.8
公共用地先行取得事業会計	214,200	214,700	△500	△0.2
介護保険会計	25,404,000	25,233,000	171,000	0.7
介護サービス事業会計	70,700	69,700	1,000	1.4
後期高齢者医療会計	4,605,000	4,224,000	381,000	9.0
母子父子寡婦福祉資金会計	38,000	11,000	27,000	245.5
公営企業会計	30,846,400	31,057,000	△210,600	△0.7
水道事業会計	10,796,900	11,196,200	△399,300	△3.6
下水道事業会計	20,049,500	19,860,800	188,700	1.0
合計	204,822,300	202,835,400	1,986,900	1.0

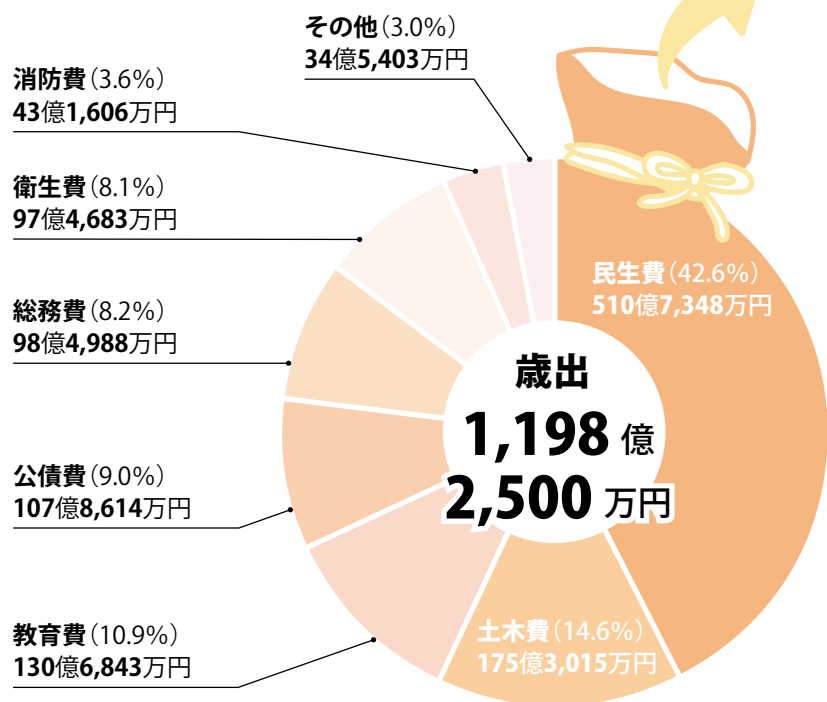
一般会計の歳入



用語の解説／歳入

市税	市民税(個人・法人)や固定資産税など
国庫支出金	特定の事業に対する国からの負担金や補助金など
地方交付税	一定水準の行政サービスを提供できるように、国から配分される交付金
県支出金	特定の事業に対する県からの負担金や補助金など
市債	国や銀行などからの借入金
地方消費税交付金	地方消費税を財源として、人口などに応じて配分される交付金
諸収入	休日夜間緊急診療収入や清掃工場の売電収入など、ほかの歳出科目に該当しない収入
その他	分担金及び負担金、使用料及び手数料、繰入金など

一般会計の歳出



用語の解説／歳出

民生費	社会保障費や福祉施設の整備運営などの経費
土木費	道路、公園、市営住宅などの整備や維持管理経費
教育費	小・中学校の整備運営や、生涯学習、スポーツ振興などの経費
公債費	公共施設の整備などの財源として借入れた市債の返済経費
総務費	市の行政運営、市民センター、防災対策、収税、選挙などの経費
衛生費	保健所の運営、健康診査や予防接種、ごみの収集・処理などの経費
消防費	消火や救急などの経費
その他	議会費、労働費、農林水産業費、商工費など

◀◀◀ 次のページでは、令和6年度当初予算の主な事業を部門別に紹介します。

保健医療部門

- 医師修学資金貸与事業の拡充……3,330万円
- 特定健康診査・高齢者健康診査……1億7,344万4千円
受診率向上のため個人負担金のワンコイン化を新たに実施
- 新 男性へのHPV感染症予防接種事業……489万円

産業経済部門

- 新 中小企業振興支援事業……1,500万円
経営力強化や高い付加価値の創出に向けた取組を支援
- 水戸まちなかフェスティバルの開催……900万円
※16ページ参照。
- 企業立地促進事業……2億7,900万円
施設整備費用に対する補助や固定資産税の課税免除などを実施
- 新 全国ねぎサミットの開催……900万円



都市建設部門

- 新 道路・公園等屋外照明灯LED化事業……6億3,000万円
- 水戸駅前三の丸地区市街地再開発事業……10億7,200万円
- 内原駅周辺地区整備事業……3億2,190万円
- 国補街路整備事業……14億1,600万円
都市計画道路の整備(3路線)

消防部門

- 南消防署緑岡出張所改築事業……4億1,900万円
令和5～7年度継続事業

教育部門

- 新 教育ダッシュボードを用いた教育データの利活用……693万4千円
教育データを集約し、データに基づくきめ細かな学習指導や支援を全中学校で実施
- 新 校内フリースクールの機能を全中学校に導入……3,066万1千円
- 小学校校舎長寿命化改良事業……5億870万円
石川小学校・寿小学校の工事、緑岡小学校の実施設計
- 小・中学校校舎増築事業……2億5,730万円
酒門小学校の工事、第四中学校の実施設計
- 新 屋内運動場空調設備整備事業……1,000万円

水道部門

- 水道施設耐震化等事業……14億2,942万7千円
配水管路や施設の耐震化などの推進
- 老朽施設更新事業……12億7,875万円

下水道部門

- かんきよ 管渠建設改良事業……21億2,400万円
幹線・枝線工事
- 処理場建設改良事業……12億900万円

令和6年度

当初予算

主な事業

こども・子育て支援については、3ページをご覧ください。

予算の詳細はこちら▶



議会部門

- 本会議ライブ配信・傍聴席モニター字幕表示の導入……399万5千円

企画総務部門

- 新 水戸で「働く」暮らし体験事業……240万円
若い世代の移住を促進するため「ふるさとワーキングホリデー・水戸」を実施
- シェアサイクル事業「みとちやり」の拡充……2,150万円
電動アシスト自転車とステーションを増設
- 「広報みと」のリニューアル……7,043万8千円
わかりやすい内容・デザインにリニューアル、デジタルでの情報発信を強化



市民協働部門

- 新 市民センター施設予約管理システムの導入……1,188万円
- 市民センター長寿命化改修事業……4億6,700万円
吉田市民センター・石川市民センターの改修工事、酒門市民センターの実施設計
- 防犯灯管理補助金の拡充……2,880万円
- 新 市民会館開館1周年記念事業……700万円

生活環境部門

- 自立・分散型エネルギー設備導入促進事業……2,250万円
住宅用蓄電池設置補助金の補助件数を拡大
- 新 公用車への次世代自動車の導入……750万円
- 新斎場整備事業……10億5,000万円
令和4～6年度継続事業



福祉部門

- 新 重度障害者就労支援事業……1,260万円
障害者の通勤や職場における介助を支援
- 新 いきいき交流センター長寿命化改修事業……1,000万円
いきいき交流センター柳堤荘の実施設計